

都教委は、「君が代」不服従の教員を

停職処分にするな！ 免職(解雇)にするな！

その声を都教委に届けましょう。緊急署名にご協力ください。

まさか？「君が代」免職が始まる
うとしている？

2003年10月23日に出した通達で東京都教育委員会(以下、都教委という)は、「君が代」斉唱の際、不起立・伴奏拒否をした教員に対し、懲戒処分をすると発表。2年間で311名の教員を処分しました。しかも、都教委は1回目は「戒告」ですが、2回目「減給1月」、3回目「減給6月」と、累算式に処分量を加算しており、全国的にもこうした処分の例はありません。

すでに05年度の入学式で、根津公子さん(立川二中)には「停職1月」を発令しました。また、その時「減給6月」だった河原井純子さん(調布養護)は、この1月25日に行われた周年行事の不起立で、「停職1月」が心配されています。「君が代」強制はおかしい！と声に出し、行動する教員たちに、停職そして免職すら危惧される事態です。

都民の60~70%は、こうした「君が代」の処分付き強制に反対しています(昨年5月に東京新聞、朝日新聞が行った調査)。

こんな流れをくい止めましょう。子ども達の未来がかかっているのですから。

学校における「日の丸・君が代」の
取り扱いの実情

今、ほぼ100%の学校の卒業・入学式で、壇上中央に張られた「日の丸」に向かって礼をさせ、「君が代」を起立し斉唱させられます。主人公は子ども達ではなく「日の丸・君が代」です。戦前の学校教育を受けた年代の方には、当時は連想させる光景です。

数年前までは都立高校の90%が「君が代」のない形でした。それは学校に論議を尽くして結論を出す土壌があり、自由・平等・平和を願う子ども達主体の卒業・入学式が行われていたからです。日常も自由な空気が流れ、民主主義が生きていました。

しかし、石原都政に替わってから、教育委員会は、学校を「監視と処罰」の場に変えました。校長や教員たちを弾圧することによって、式の内容も変え、「君が代」実施率100%にしたのです。

教員たちの大半は、今のような式のあり方、「日の丸・君が代」の実施の仕方を良くないと思っています。校長たちの中にさえも都教委のやり方に、不満がくすぶっています。都民も教員も、多くの人がおかしいと考えていることが、都教委の意思だけで行われるなんて・・・、異常な事態だと思いませんか？

職責をかけて不服従を貫く教員を支援しよう。

教員は、「自分で考え判断することを大切にしよう」「自分らしく生きることを大切にしよう」「イヤなことはイヤだといっているんだよ」と言って、日々子どもと接しています。だから「日の丸・君が代」の強制に服従できないのであり、不服従を職責と考えているのです。ところが、そういうことを実践している教員が、「次は免職だぞ」と、脅され、職を追われようとしています。

絶対に、こんな違法な停職処分・免職処分をさせないよう、署名活動にご協力下さい。

河原井さん根津さんらの「君が代」解雇をさせない会

連絡先：遠藤(042-573-4010)

加藤(042-524-9863)

古荘(042-592-3806)

- * 賛同団体：アジア・ヒストリー(多摩市) 石川中裁判を支える会 君が代不当処分撤回を求める会 小弥「君が代」処分を考える会 東京・ココロ裁判をすすめる会 「日の丸・君が代」不当処分撤回を求める被処分者の会 武蔵野・学習指導要領を考える会 アイム '89東京教育労働組合 多摩島嶼教職員組合 東京都障害児学校労働組合 吉峰法律事務所 千葉学校労働者合同組合(2/18現在)